

育児休業に関する体験記 5

40代 47日間取得

①家事・育児について

1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか

時間がかかる買い出しや料理は夫がすることとし、その他の家事・育児は臨機応変に協力して行うことにした。お互いの睡眠時間を確保するためにシフト制を組み、夜間は主に夫が別部屋で子供を見ることとした。

2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について

職場復帰後は、食事の準備こそなかなか出来なくなりましたが、妻には1日のなかでしっかり休める時間を持って欲しいので夜間のシフト性は継続している。

(妻 記載欄)休業取得者の家事・育児の参画の状況について

初めての出産から育児でいろいろと不安でしたが、いつもそばにいてくれたので家事の協力や一緒に考えながら子育て出来るのはとても心強かったです。

②仕事について

1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか

抱えている仕事は極力、残さないように職場にいる間に完了させた。終わらない仕事については細かいメモを付け同僚に申し送りを行った。

2. 評価・反省

上司、同僚に色々とお気にかけて業務をまわしてもらえたおかげで、特にトラブル無く育児休業を終え復帰することができた。

③自由記述

妻と母子手帳をもらいに行った際、職員の方に「ぜひパパ育休を取って育児を楽しんでください！」と言われて育休についてしっかり調べ始めたのが取得のきっかけです。

今回、産後パパ育休と通常育休を取得し、生まれて間もない頃から4ヶ月目まで娘の成長を間近で見ることができて多くの感動と学びを得ました。夜泣きからの寝不足もあり最初はどうなる事かと思いましたが、ミルクやお風呂、寝かしつけ等自身の育児スキル向上に手応えを感じてくると余裕が出てきて楽しくなりました。

時間の自由があることで妻の要望にもすぐに応えられますし、互いが睡眠不足のなか育児で喧嘩がちになっても対策をしっかり話し合っただけで決めることができるので、片方だけがストレスを溜めることなく夫婦の関係性も良くなりました。娘の日々の成長は本当に早く仕事をしていたら見逃してしまう貴重な瞬間を妻と一緒に見て感動して共有できたことは、育休を取って本当に良かったと感じています。

職場環境や業種によっては、長期の育休を取ることに抵抗がある方は多くおられると思います。生涯に何度もない貴重な経験ができるので、是非お勧めしたいと思います。

最後になりますが育休中、協力をいただいた職場、上司、同僚に心からお礼を申し上げます。